

「大阪教区教化体制見直しのための審議会」から

2014年3月3日、大阪教区教化委員長に
(教務所長)

答申

が提出されました！

「答申(とうしん)」とは、すでに15年を経た現在の大阪教区の教化体制を見直すために設けられた審議会(委員15名)が、7ヶ月20回の審議を重ねて、「新しい教化方法をこんな風に変えたらどうだろう?」と、提案された意見書です。その答申を受けて、この度、策定委員会(委員10名)が設置され始動しました。今後、「策定委員会だより」も発刊してゆきます！

2014年7月1日

A4一枚で伝える

大阪教区教化体制
策定委員会だより
準備号

答申 
について

●用語の説明●

大阪教区：大阪府・奈良県・和歌山県
兵庫県の一部をさします

教化：真宗の教えを伝えること

策定：政策や計画を考えること

「答申」の実体はA4サイズ
8ページの難解文ですが…

「答申」の内容は大きくわけて3つ!!!

現教化体制の 具体的課題



- ①教化委員会の中核を担う
企画部会と、現場活動する
専門部会との連携不足
- ②委員充て職のメリット・デメリット
- ③包括的な広報活動への移行
- ④教化の中心地・難波別院と
平行に「出向く教化」も
- ⑤業務集中荷重の解消
- ⑥教区教化センターの課題
- ⑦真宗学院運営方法の再考
- ⑧青少幼年活動への理解不足
とアピール不足

めざすは現場の ボトムアップ



- ①1ヶ寺1ヶ寺の提案を教区へ
上げていくボトムアップ方式で
教区の活性化を
- ②次世代の人材育成と登用
- ③組を基軸とした教区教化
- ④「寺族」・門徒の共同教化
- ⑤男女平等参画による教化
- ⑥都市化・過疎化・
少子高齢化への対応

現場の
声を！

現場に
活力を！

教区が果たす べき役割



- ①「教区教化委員長懇談会」
の開催。教区教化委員長が
幅広い分野の人々を招集し
て継続的に懇談会を開き
同朋会運動の展開を図る
- ②教化の現場となる組、寺院
・教会との連絡協議の場を
確保する
- ③住職を含めた「寺族」の
研鑽の場の設定。これを教区
教化委員会や教化センターが
支援する

「答申」を受けて、今後具体的にどうすべきかを検討する機関として「策定委員会」が2014年4月15日に設置されました。なお答申の具体的内容や策定委員のメンバーは4月末の全寺院発送で送付済です。今後は広く皆様のご意見をいただきながら、それぞれの組や寺が元気になって、教区が活性化するような提案と実行を進めてゆきます。

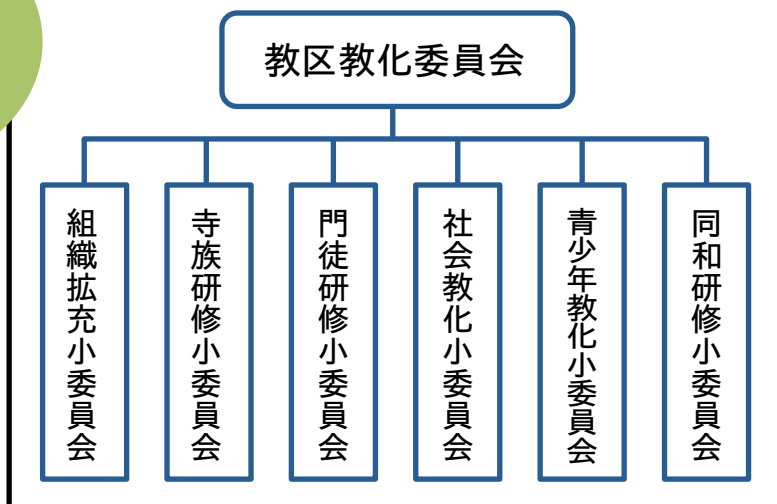
大阪教区教化体制策定委員会 発行 



15年前
まで



対象者を基準にした体制



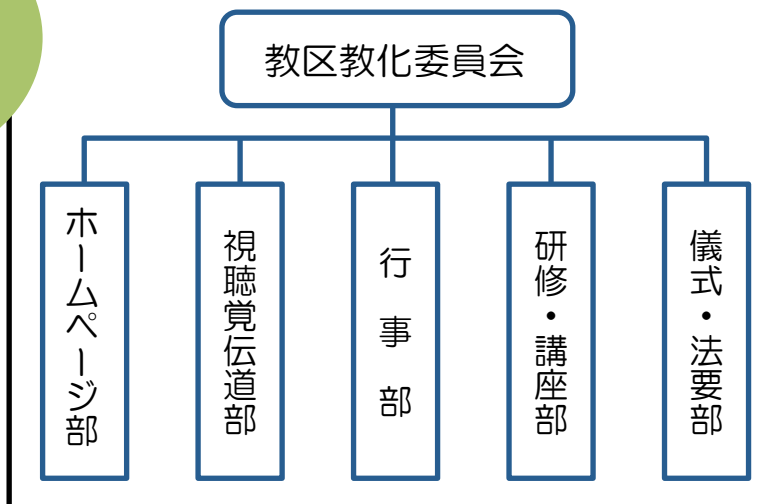
この頃、組織拡充小委員会は各小委員会の幹事さんも参加して、そこで教化活動全体も考えていたんですってね。



15年前
から



課題を基準にした体制



この表には書かれていないけど、各部を統括しているのが企画部会で、各部はさらに実行委員会をいくつも組織しているのです。



15年
経った今

そして、15年経った今、それぞれの課題を担い歩んで来たのですが、大きく整った体制の中で

「一人ひとりの現場が見失われている」

という声をたくさんきかせてもらいました。策定委員会では、ご門徒と共につくってゆく一ヶ寺一ヶ寺に親鸞聖人の教えが届くそんな教化の現場を大切にした教区づくりを考えてゆきたいと思っています。

